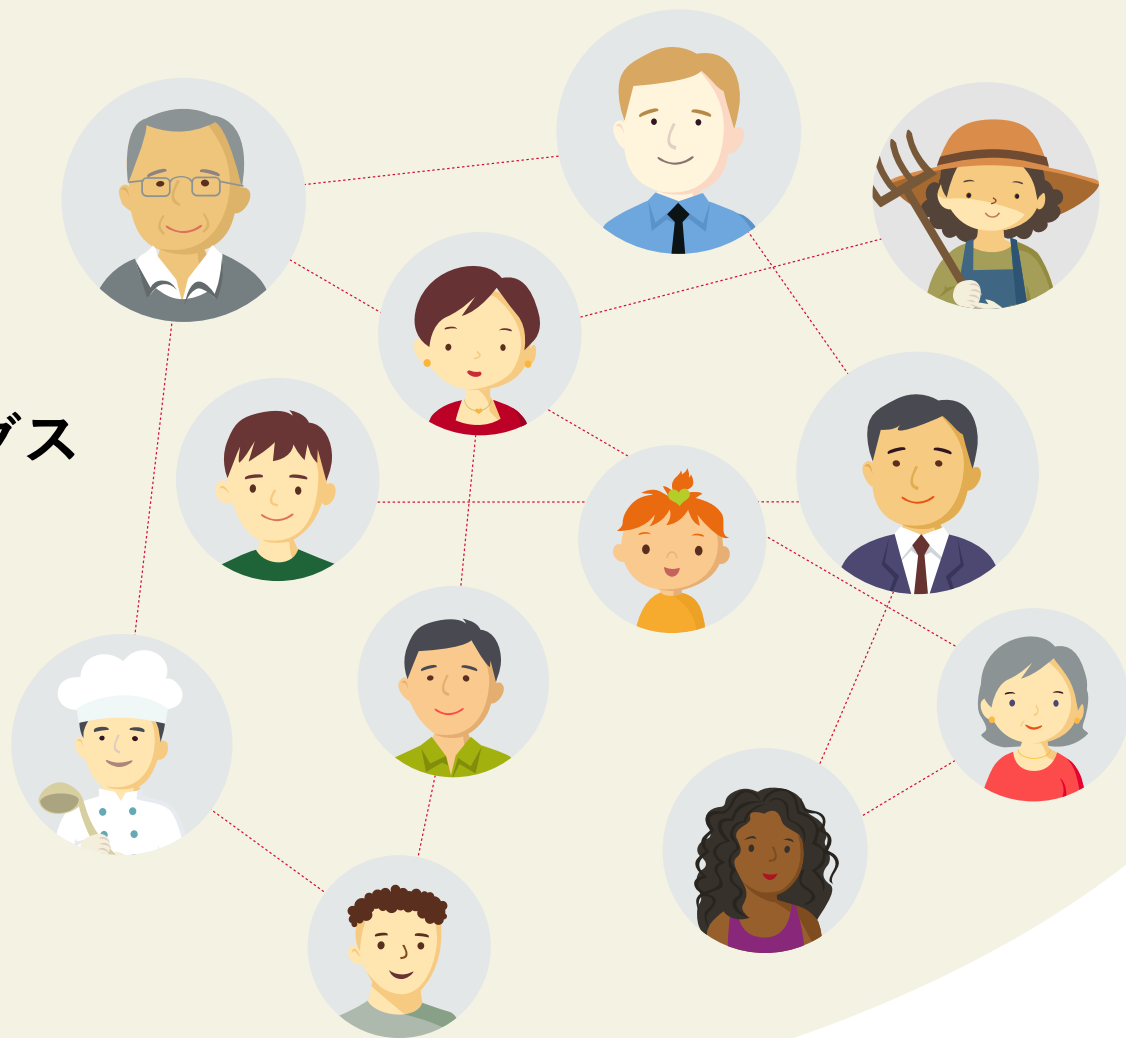


TAKAYOSHI

株式会社タカヨシホールディングス

2026年9月期 第3四半期決算説明資料

2026年8月10日





1.2026年 9 月期 第3四半期 決算ハイライト

業績サマリー（第3四半期連結累計期間）

営業収益

6,025百万円

前年同期比

+0.5%

業績予想進捗率

77.3%

営業収益、
営業利益共に
順調に推移

営業利益

682百万円

前年同期比

+6.7%

業績予想進捗率

68.3%

主要な経営指標（KPI）

流通総額

19,347百万円

（前年同期比△5.3%）

店舗数

193店舗

（前期末より11店舗増）

登録生産者数

35,607件

（前期末より1,701件増）

通期業績予想における進捗は、順調に推移

出店の再加速を背景に、流通総額および営業収益は業績予想に対して概ね順調に推移。一方、今後の成長に向けた店舗改装や物流機能の強化を積極的に推進した結果、販管費増となり、利益面では業績予想に対する進捗がやや緩やかとなっております。

（単位：百万円）

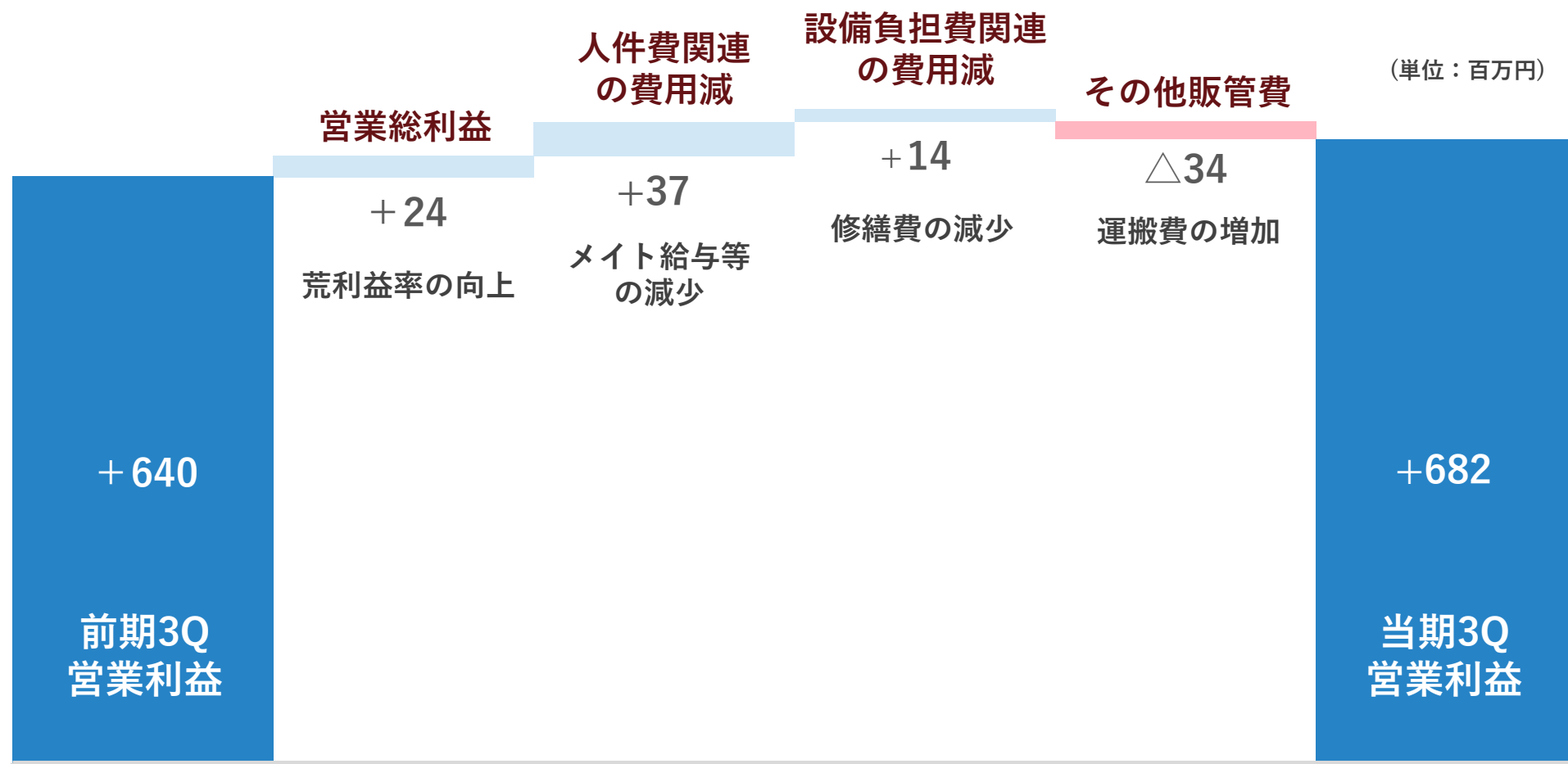
	2025/9期 3Q実績	2026/9期 3Q実績	変動率	通期業績予想	進捗率
流通総額	20,433	19,347	△5.3%	26,200	73.8%
営業収益	5,996	6,025	+0.5%	7,800	77.3%
営業利益	640	682	+6.7%	1,000	68.3%
経常利益	634	687	+8.3%	970	70.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	300	346	+15.3%	520	66.7%

PL前期比較

(単位：百万円)

	2025/9期 3Q実績	2026/9期 3Q実績	増減	変動率	主な理由
流通総額	20,433	19,347	△ 1,086	△ 5.3%	・新フォーマット店舗における単店売上の小型化
営業収益	5,996	6,025	+29	+0.5%	・荒利率の向上
売上総利益	5,501	5,540	+39	+0.7%	
売上総利益率 (流通総額ベース)	26.9%	28.6%	+1.7pt	-	
販管費合計	5,028	5,010	△ 18	△ 0.4%	・店舗効率化による人件費等の減少 ・資産除去費用の減少
営業利益	640	682	+41	+6.7%	・販管費の減少
営業利益率 (流通総額ベース)	3.1%	3.5%	+0.4pt	-	
経常利益	634	687	+53	+8.3%	
税引前当期純利益	460	593	+133	+28.8%	
親会社株主に帰属する 当期純利益	300	346	+46	+15.3%	

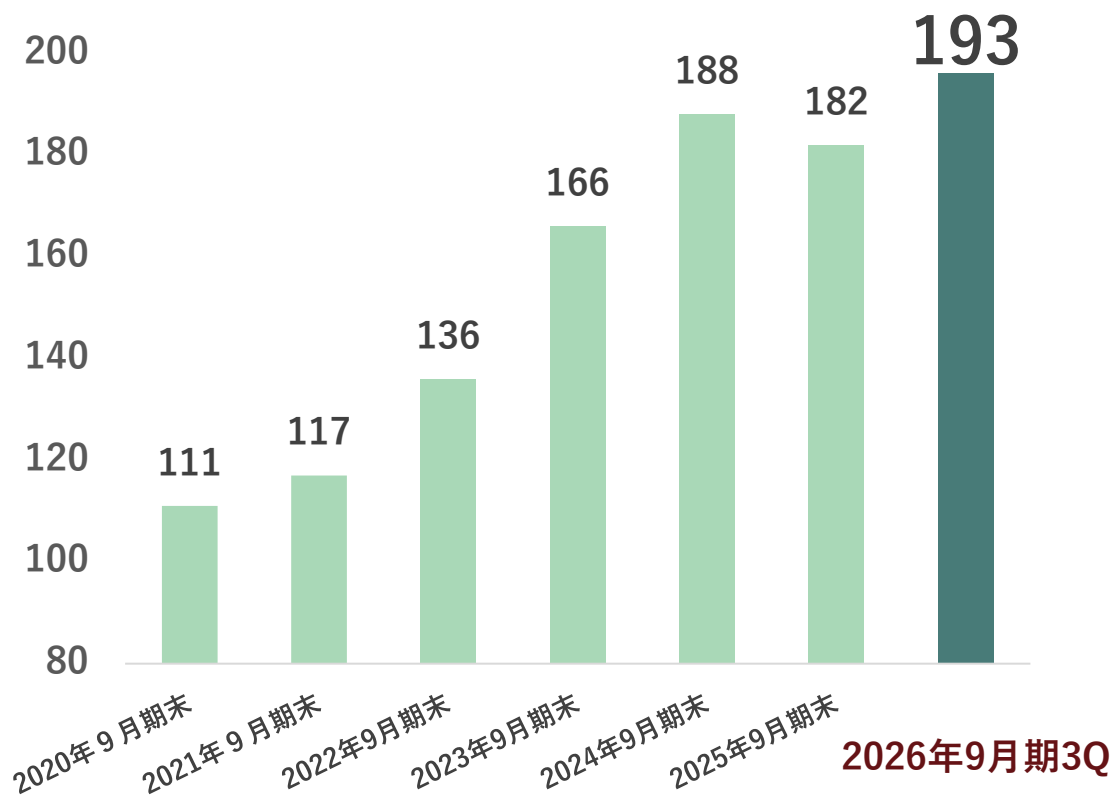
取引条件等の見直しによる営業総利益の増加と
販管費の見直しによる利益改善。



店舗数の推移

今期はすでに28店舗を新たに开店し、
目標30店に向け、順調に推移

(単位：店)



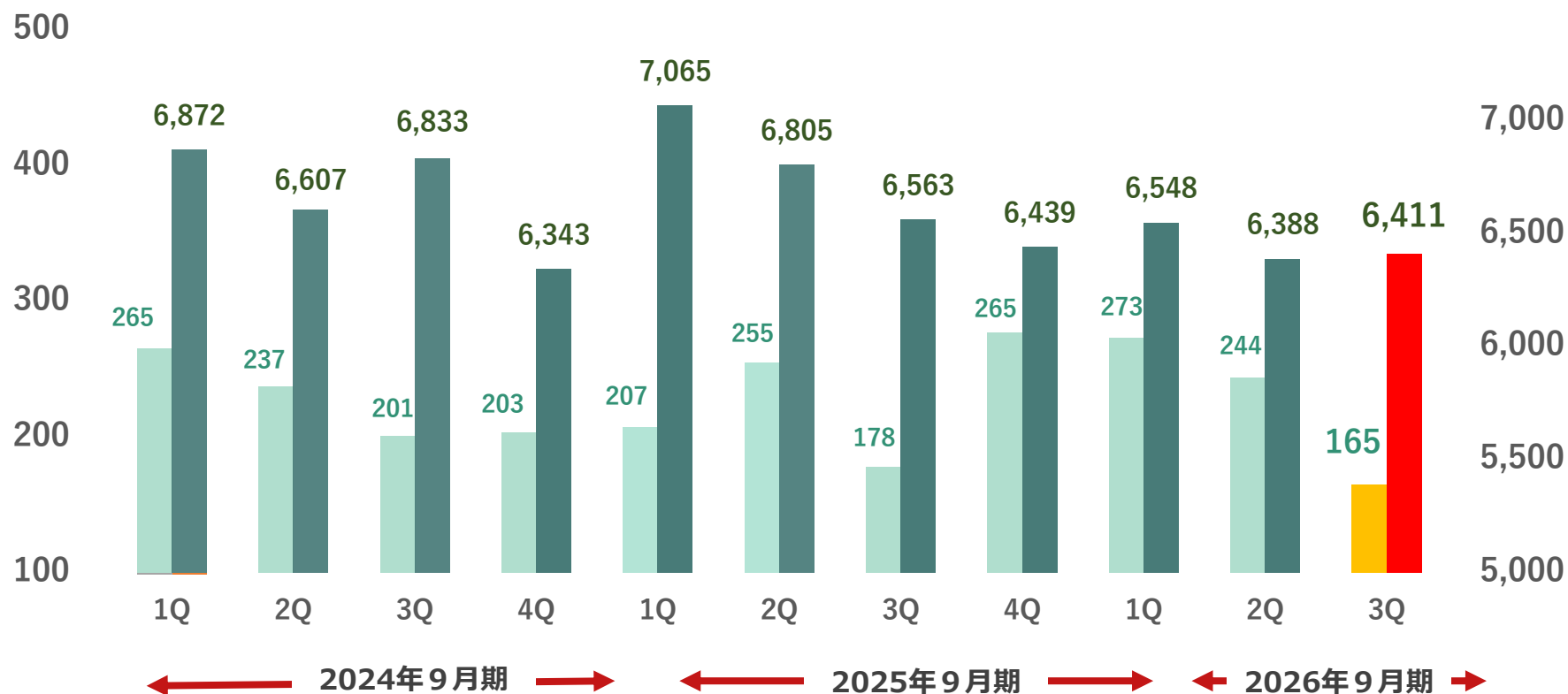
地域	当期 出店数	当期 閉店数	店舗数
北海道	1店舗	1店舗	3店舗
東北地方	—	—	3店舗
関東地方	25店舗	15店舗	117店舗
中部地方	2店舗	1店舗	34店舗
近畿地方	—	—	18店舗
中国・四国 地方	—	—	8店舗
九州地方	—	—	10店舗
合計	28店舗	17店舗	193店舗

2026年9月期 3Q実績	2026年9月期 達成目標	進捗率
28店	30店	93%

四半期ごとの流通総額と営業利益の推移

営業利益（左グラフ）
単位：百万円

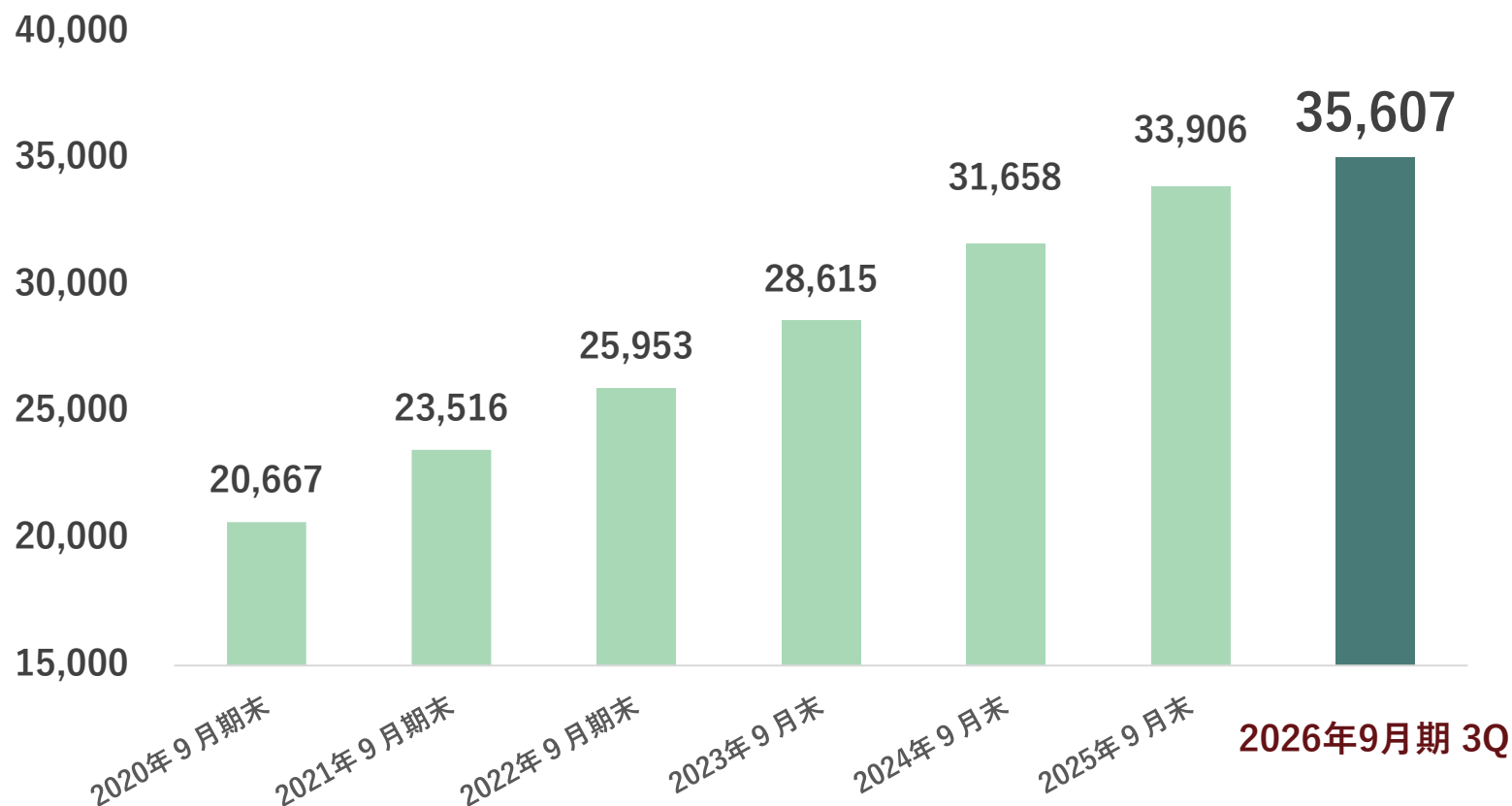
流通総額（右グラフ）
単位：百万円



累計登録生産者数の推移

新規出店に伴う生産者開拓と並行して、
既存店舗の追加開拓も推進し、累計登録者は順調に推移

(単位：件)



登録生産者数：「わくわく広場直売所会」へ登録された生産者の各期末時点の件数

新規出店の実績 —店舗網の着実な拡大—

今期 新規出店数

28 店舗



NEW FORMAT

新フォーマット店舗

23 店舗



商業施設店舗

5 店舗

NEW FORMAT



2026.4.14 OPEN

紀尾井町店

NEW FORMAT



2026.4.22 OPEN

水道橋店



2026.5.29 OPEN

コトエ橋本店

- 本資料の作成に当たり、当社は当社が入手可能な情報の正確性や完全性に依拠し、前提としています。また、発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれている場合があります。これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいておりますので、当社として、必ずしも達成を約束するものではありませんが、事業計画を見直した場合など、記載内容に重要な変更が生じた場合には、速やかにその内容について開示いたします。
- 当該予想と実際の業績の間には、経済状況の変化や顧客のニーズ及びユーザーの嗜好の変化、他社との競合、法規制の変更等、今後のさまざまな要因によって、大きく差異が発生する可能性があります。
- 本プレゼンテーション資料・データの無断転用はご遠慮ください。
- 事業計画及び成長可能性に関する事項のアップデートは各事業年度ごとに、本決算後12月頃迄を目途として開示を行う予定です。